



■会場	東京体育館(東京)	試合開始: 12:40	試合時間	0:56
観客数	2,000	主審: 原 啓之	副審: 山条 康弘	

得点	セット時間	得点
8	1set(15')	25
12	2set(16')	25
19	3set(19')	25

東洋高等学校(東京都)

- 監督: 赤羽 博
- コーチ: 赤木 勇一

東福岡高等学校(福岡県)

- 監督: 藤元 聡一
- コーチ: 小藤 稔

■第1セット出場メンバー

1 笠利	5 土屋	6 原口
	12 (高橋)	
3 関本	2 柳田	4 梅村

- ( )内は交代選手
- リベロ: 8 山本 拓哉

■第1セット出場メンバー

8 古賀	3 永露	5 谷口
7 金子	2 竹下	9 井口
	12 (宮園)	

- ( )内は交代選手
- リベロ: 11 正近 幸樹

39	<b>Total</b>	75
0	セット数	3

■Match Comment

男子決勝戦は、ともに初の優勝を目指す地元東京都の東洋高等学校と福岡県の東福岡高等学校の対戦となった。

第1セット、序盤から東福岡高校の永露、谷口、金子がスパイクを決め試合を優位に進める。東洋高校も笠利のスパイクで対抗するが、東福岡高校は要所でブロックを決めセットを先取した。

第2セット、東福岡高校の勢いは止まらず、セッター井口のトスワークがさえ多彩な攻撃を繰り広げ、東洋高校のブロッカーに的を絞らせず2セットを連取した。

第3セット、中盤まで一進一退の攻防を繰り広げた。粘り強く拾い、攻撃に繋げた東福岡高校が3セット目も奪い、初の優勝を成し遂げた。

■Coach Comment: 赤羽 博(東洋高等学校(東京都))

■Coach Comment: 藤元 聡一(東福岡高等学校(福岡県))